

全体会用資料

越路地域委員会・分科会協議（課題）項目一覧

■○●※★□△◎ は項目が類似しているもの

項 目	内 容	提案者	分科会（案）
越路地域の中期・長期計画 ■	越路地域の中期・長期計画の必要性 具体的な問題点の収集と実施順位を決め方向を検討	地域委員 竹内 敏	教育・福祉・観光 建設・農林・産業
越路防災ひろばの建設 ○	現在防災対応型の地区公園として基本計画が進められている「越路防災ひろば」の越路地区における位置づけ及び他地域（来迎寺地区以外）も含めた防災拠点公園のありかた	〃	〃
住民の声の収集 ●	他地域委員では「住民の声」の収集と報告は地域委員の責務と認識されているみたいですが、現状の地域委員の選出方法からして当てはまらないと思う。情報の収集として区長会との意見交換等何らかの検討を行わないと地域委員会のための会議になる可能性がある（各地域の常会に出席は困難）	〃	教育・福祉・観光
越路地区防災対策 ○	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの有効活用 配布だけでなく越路地区の防災計画の展開（災害時における地区毎の縦横の展開等の意思統一が必要ではないか） ・ハザードマップにない水害等の対応 鷺の島橋、小坂橋等の大水時の対応（交通規制）西谷、不動沢等の冠水対策 ・地震時における情報伝達、物資の配給 防災ひろばの位置（塚山地区、小国地区への展開方法） ・地域の避難場所の明確化 ・聞き取りやすい防災無線（広報） 指向性になっている 	〃	教育・福祉・観光 建設・農林・産業

	<p>・雪害対策</p> <p>来迎寺地区と塚山地区では積雪量も異なる。消雪パイプ、流雪溝、機械除雪等の可能な施策（今後の高齢社会が進むことによる地域コミュニティの維持）</p>	地域委員 竹内 敏	教育・福祉・観光 建設・農林・産業
<p>ふるさと創生事業について</p> <p>●</p>	<p>創生事業の対応をソフトとハードで検討すべきではないか</p> <p>限られた予算の中で多くの案件に対応すべき</p> <p>ソフト・・・創生事業</p> <p>ハード・・・市の年度事業</p>	〃	教育・福祉・観光
<p>越路地域農業対策について</p> <p>※</p>	<p>農業立町とまで言わしめた今迄の実績</p> <p>現在の世界の食糧事情と国内食糧を踏まえたこれからの越路農業のありかたについて</p>	地域委員 関 誉隆	建設・農林・産業
<p>産業の活性化について</p> <p>※</p>	安心と安全な食と共に消費者とふれ合う場づくり	地域委員 小林國雄	〃
<p>環境と生活について</p> <p>★</p>	人と自然がふれ合うやさしい環境づくり	〃	〃
<p>文化と生活について</p> <p>●</p>	豊かな文化の継承と共に地域の元気づくり	〃	教育・福祉・観光
<p>地域の開発について</p> <p>○</p>	河川の防災対策の進行について（渋海川・須川）	〃	建設・農林・産業
<p>教育について</p> <p>□</p>	<p>小中学校のいじめの現状把握と地域全体として対応していくか。</p> <p>教育に口をはさむのは現場によいことではないが、宅地造成により様々な考え方を持つ保護者が増えている。学校側の姿勢も地域から変えていかなければならない。</p>	地域委員 永井朝雄	教育・福祉・観光

<p>観光対策について △</p>	<p>越路地域の観光はどうあるべきか、集客力を求めていくのか。テーマを深めていくのか。ICが完成しても観光客が増えるとは思えない、検討する価値はあります。 越路地域の特色とは何か。農業（米作）も産業（朝日酒造・岩塚製菓・ヨネックス等）も交通アクセスもそれなりに充実していると思う。しかし、越路と特色と問われると自問してしまう。</p>	<p>地域委員 永井朝雄</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
<p>防災対策について ○</p>	<p>渋海川改修工事について 早期実現の要請、進捗状況の報告の徹底、工事完成（実現）に至るまでの具体的な補足事項（頻繁な巡検及び報告等）</p>	<p>地域委員 山田久子</p>	<p>建設・農林・産業</p>
<p>教育対策について □</p>	<p>子供たち一人一人にきめ細かな目の届く教育を。 現場では絶対的な人手不足で問題のある児童に関わってられる余裕がない。本来であれば職員を増員するのが妥当であるが、現在民間からの補助員（こころの相談員）の勤務時間を増やしてもらいたいとの要望あり。子供たちも望んでいる。</p>	<p>〃</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
<p>環境問題について ★</p>	<p>ゴミ不法投棄禁止看板の設置、罰金制度の創設等。 環視員（監視員ではない）の任命等</p>	<p>地域委員 佐藤眞知子</p>	<p>建設・農林・産業</p>
<p>教育について □</p>	<p>学区の拡大による通学の足の確保。特に冬、バス大混雑。 バスに合わせた時間割を、生徒の授業、部活動に合わせた運行に。</p>	<p>〃</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
<p>越路らしさの持続について ◎</p>	<p>越路全体の取組みが多数あるので、支所としてのまとまりは持続してほしい。地域コミュニティセンター化は反対の決議をする。</p>	<p>地域委員 小林民雄</p>	<p>〃</p>

<p>産業の活性化について ※</p>	<p>越路地域への観光客誘致について。ETC インターチェンジ付帯道路と越路支所前の道路交差点に直売所（農産物、朝日酒造、岩塚製菓、ヨネックス他）設置。 直売所と連動した越路地域農業の活性化。 越路地域農業のこれからの方向性について。 天然ガスに関する研究機関の越路原への誘致。 G T L， D M Eに関する他。</p>	<p>地域委員 小林民雄</p>	<p>建設・農林・産業</p>
<p>観光地の P R △</p>	<p>現在ある観光・名所の P R を官民一体となつて行う。 従来から行っているところであるが、今一度見直し、特に民の力を利用できないか。</p>	<p>地域委員 内藤 勝</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
<p>都市計画について ▲</p>	<p>長岡南・越路スマート I C 周辺の土地利用について</p>	<p>支所建設課</p>	<p>建設・農林・産業</p>
<p>C A T V 越路専用チャンネルについて ●</p>	<p>小国地域ケーブルテレビ導入に伴い、越路地域専用チャンネルの活用について</p>	<p>支所地域振興課</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
<p>地域施設のコミュニティセンター化について ◎</p>	<p>「自分たちでできることは自分たちで行う」という「住民自治」の浸透・定着について</p>	<p>支所地域振興課</p>	<p>教育・福祉・観光</p>
